

誰もが幸せを育める理想の「まち」を目指して

「新型コロナウイルス対策」を徹底しつつ、東海村を次のステージへ導く



このたびの東海村長選挙において、引き続き3期目の村政を担わせていただくことになりました。改めて身の引き締まる思いとともに、大きな期待と信頼に応えられるよう全力を尽くしてまいります。

■新型コロナウイルス対策を最優先に

新型コロナウイルス感染症の流行はいまだに収束が見通せません。このような状況下でありますので、村民の皆さんの安心・安全を守るため、今はコロナ対策へ全力投球してまいります。本村では、皆さんのご協力により、現時点でクラスターの発生は確認されておらず、感染拡大を抑えられている状況にあります。引き続き、感染症対策を徹底していかなければなりません。村としては、ワクチン接種の加速化が最優先課題であり、希望する皆さんが一日でも早くワクチンが接種できるよう取り組んでまいります。

■理想の「まち」をつくる

これまでの2期8年は、目の前にある課題の解決に重点を置き、取り組んできました。待機児童の解消や、インフラの整備推進、防災対策の推進など、早期に対応が必要な政策を着実に進めてきたところではあります。3期目の村政では、新たなビジョンの下、村民の皆さんとともに、誰もが幸せを育める理想の「まち」を目指してまいります。

これからの「まちづくり」として、理想の「まち」をつくる。というキャッチフレーズをベースにして、次の4年間は、これまでの常識に捉われず新しい発想で大胆に、攻めの行政を展開していく。これが私の新たな挑戦です。

東海村長 山田 修

《鍵となる「3つの視点」》

▼「みらい」をつくる

「50年先も便利なまち」を目指し、暮らしを支えるインフラ整備を着実に推進します。また、最先端の科学技術の研究成果を村の産業や観光、次世代の教育に生かせるよう、「これからの原子力・サイエンス」の在り方を考えていきます。

▼「ひと」をつくる

「地域とつながる、世界とつながる」ために、新たな発想で人づくりに取り組めます。地場産業の競争力強化やデジタル化を支援するなど、地域を支える人材育成を確保するほか、個別の福祉から世帯の「暮らし」を支える村独自の施策を展開します。

▼「ふるさと」をつくる

若い世代に「選ばれるまち」を目指すとともに、これからも住民の皆さんが住んで良かったと思え、「ふるさと」としての愛着を持てるような一体感のあるまちづくりを推進します。